

Dominika Krupczak

「私が日本を好きになったわけ」

私が誰かに日本語を勉強しているということを話すと、よく「え？何で？」と聞かれます。確かにこれはめずらしい趣味(しゅみ)かもしれません。もし過去の自分が今の私の趣味を知ったらきっと驚(おどろ)いたでしょう。

私が小さかった頃「日本」という言葉を聞いて何を想像(そうぞう)したのでしょうか。トヨタの車のこと？ それとも侍(侍)のことかしら。忍者(忍者)のことだったかもしれません。ポーランドからこんなに遠くにある国は、子供(こども)だった私にとって、こんなイメージ(イメージ)だったと思います。将来(将来)この国の言語(言語)を習(まな)ぶなんて想像(想像)さえしませんでした。

今、思うと、私の日本語との格闘(かくとう)の始まりは、小学校(小学校)の頃、初めて日本のアニメを見た時(とき)なんです。すごく不思議(ふしぎ)で面白い(面白い)と思いました。なぜならいつもテレビ(テレビ)で見(み)ていた他の番組(番組)とは全然(ぜんぜん)ちがっていた(ちがっていた)からです。

それで私は日本のポップカルチャー(ポップカルチャー)に夢中(夢中)になって、あのすてきな国(国)の文化(文化)に興味(興味)を持ち始めました。この新しい趣味(趣味)のおかげで、それまでほとんど知ら(し)らなかった日本(日本)のことをもっともっと知りたくて、いろいろ調(しら)べました。

それにアニメ(アニメ)を見れば見るほど私は日本語(日本語)の言葉(言葉)が少しずつ分かる(分かる)ようになった(ようになった)と気づ(き)きました。そしてとても美しい言語(言語)だと思(おも)って好き(好き)になりました。それで日本語(日本語)学校(学校)に入(い)りたいと思(おも)いました。一生懸命(いっしょうけんめい)、両親(両親)を説得(せつとく)して高校生(高校生)になった時(とき)、やっとマンガセンタ(マンガセンタ)ーで日本語(日本語)の勉強(勉強)を始(は)めたんです。私の趣味(趣味)はもう単(たん)なる趣味(趣味)ではなくなりました。

私は日本語(日本語)学校(学校)に入(い)ってから、いろん(いろん)な人(ひと)たちに出会(であ)って面白い(面白い)経験(けいけん)や楽しい思い出(思い出)をたくさん作(つく)りました。勉強(勉強)すればするほど日本語(日本語)がさら(さら)に上手(うまい)になって、日本人(日本人)たちともど(ど)んどん自由(じゆう)に話(わ)せるよう(よう)になって、本当(ほんとう)に嬉(うれ)しいです。

日本語(日本語)を習(まな)ったおかげで、あんなに遠(とほ)くに見(み)えた国(国)が今(いま)はと(と)ても近(ちか)くに感(かん)じます。今(いま)、私の夢(ゆめ)は大学(だいがく)で日本文化(日本文化)を勉強(勉強)することです。日本(日本)についてもっとも(も)っと学(まな)んでいつか日本(日本)と関係(かんけい)のある仕事(しごと)がしたい(したい)と思(おも)います。

小学校(小学校)のあの時(とき)、もし日本(日本)のアニメ(アニメ)を見(み)てい(い)なかつたら、私の人生(じんせい)はき(き)つとぜんぜん違(ちが)う方向(かう)に動(うご)いていただ(いただ)ろうと思(おも)います。